

下水道使用料の改定について

飯能市 上下水道部 下水道課

目 次

- 1 他団体の下水道使用料**
- 2 飯能市の下水道使用料**
- 3 目標の設定**
- 4 使用料改定シミュレーション**
- 5 今後の審議予定**

1 他団体の下水道使用料

県内他団体の改定状況

引用：HP等で確認した内容を記載

団体名	改定時期（年度）					平均改定率(%)				備考
	R3	R4	R5	R6	R7	0	10	20	30	
越谷市	●									料金体系見直し
白岡市		●						26		
羽生市		●						20		
熊谷市			●					25		
桶川市				●						料金体系見直し
北本市				●			15			
八潮市				●			10			
本庄市				●					33※	※基本料金のみ
松伏町				●		8				
行田市				●			20			
毛呂山組合※					●		20			※毛呂山・越生・鳩山 公共下水道組合

2 飯能市の下水道使用料

現在の基本料金と超過料金

基本料金	料金 (税抜)
20m ³ まで	2,360円

超過料金 (1m ³ につき)	単価 (税抜)
20m ³ を超え60m ³ まで	128円
60m ³ を超え200m ³ まで	158円
200m ³ を超え1,000m ³ まで	188円
1,000m ³ を超える分	218円

累進制

大口需要家の需要変動リスクに対応するコストを調整・配賦するという趣旨から、使用量の増加に応じて単価が高い

【使用料の計算】

2か月の使用水量40m³の場合

- ・基本料金20m³まで 2,360円
 - ・超過料金20m³×128円 = 2,560円
- 税抜 = 4,920円
- 税込 = 5,412円
- 1月あたり税込 = 2,706円

2 飯能市の下水道使用料

飯能市の過去の改定状況

改定日	平均改定率 (%)	基本料金の改定率 (%)					超過料金の改定率 (%)			備考
		10	20	30	40	50	10	20	30	
H11.4.1	40					57.9			35.2	
H17.4.1	25			33.3				22.0		
H23.4.1	17		24.1				15.4			} 2段階改定
H26.10.1	10	14.6					10.0			

3 目標の設定

論点

目標金額の設定

下水道使用料改定による増加の目標額 **2億円/年**

- ・現状の使用料収入 9 億円から **2 億円を増額**し、
目標の使用料収入を11億円 (**22%増**) とする。

収入の減少	2,000万円/年
下水道使用料の減少分	1年目1,000万円 2年目2,000万円 3年目3,000万円

修繕の増加	6,000万円
老朽化した施設の修繕工事の推進 (R6当初予算8,110万円)	
管きよの修繕費	1,500万円/年
ポンプ場の修繕費	500万円/年
処理場の修繕費	4,000万円/年

費用の増加	2,000万円
管きよ費の増加分	300万円/年
ポンプ場費の増加分	100万円/年
処理場費の増加分	1,500万円/年
業務費の増加分	100万円/年

内部留保資金	10,000万円
7 年度中の枯渇を回避	10,000万円/年

【目標額】
2,000万円+2,000万円+6,000万円
+10,000万円 = 2億円

3 目標の設定

県内他団体の改定状況

引用：HP等で確認した内容を記載

団体名	改定時期（年度）					平均改定率(%)				備考
	R3	R4	R5	R6	R7	0	10	20	30	
越谷市	●									料金体系の見直し
白岡市		●						26		
羽生市		●						20		
熊谷市			●					25		
桶川市				●						料金体系の見直し
北本市				●			15			
八潮市				●			10			
本庄市				●					33※	※基本料金のみ
松伏町				●		8				
行田市				●				20		
毛呂山組合※					●			20		※毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合
飯能市					●			22		

3 目標の設定

論点整理

① 使用料算定期間

使用料算定期間 **3年間**

【3年とした場合メリット・デメリット】

メリット

- ・大幅な値上げの抑制（使用者負担の軽減）

デメリット

- ・料金変動が小さくなると財政リスクが残る

② 目標金額の設定

下水道使用料改定による増加の目標額 **2億円/年**

- ・現状の使用料収入 9 億円から 2 億円を増額し、
目標の使用料収入を11億円（22%増）とする。

4 使用料改定シミュレーション

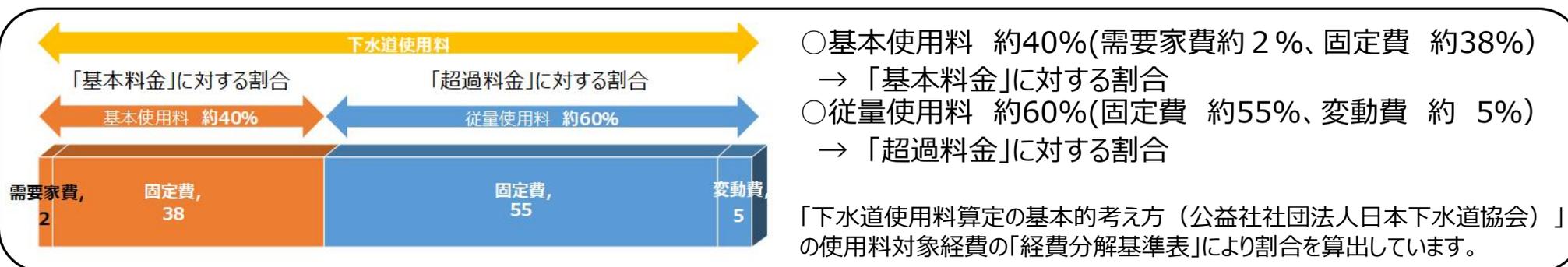
改定案	改定率		基本料金	超過料金	合計	改定による増加額
	基本料金	超過料金				
	現行	現行	376,260,000	497,900,000	874,160,000	
1	+10%	+20%	413,886,000	597,480,000	1,011,366,000	137,206,000
2	+12%	+20%	421,411,200	597,480,000	1,018,891,200	144,731,200
3	+14%	+20%	428,936,400	597,480,000	1,026,416,400	152,256,400
4	+13%	+25%	425,173,800	622,375,000	1,047,548,800	173,388,800
5	+15%	+25%	432,699,000	622,375,000	1,055,074,000	180,914,000
6	+17%	+25%	440,224,200	622,375,000	1,062,599,200	188,439,200
7	+20%	+25%	451,512,000	622,375,000	1,073,887,000	199,727,000
8	+25%	+25%	470,325,000	622,375,000	1,092,700,000	218,540,000

※赤字については、基本料金と超過料金の割合が経費分解比率の割合になっています。(次頁参照)

4 使用料改定シミュレーション

経費分解比率とは

「基本料金」と「従量使用料」を、「需要家費」、「固定費」、「変動費」に分解をした割合



つまり

赤字のパターン

「経費分解基準表」に基づく

黒字パターン

「経費分解基準表」に基づかない

改定案	改定率		基本料金	超過料金	合計	改定による増加額
	基本料金	超過料金				
	現行	現行	376,260,000	497,900,000	874,160,000	
1	+10%	+20%	413,886,000	597,480,000	1,011,366,000	137,206,000
2	+12%	+20%	421,411,200	597,480,000	1,018,891,200	144,731,200
3	+14%	+20%	428,936,400	597,480,000	1,026,416,400	152,256,400
4	+13%	+25%	425,173,800	622,375,000	1,047,548,800	173,388,800
5	+15%	+25%	432,699,000	622,375,000	1,055,074,000	180,914,000
6	+17%	+25%	440,224,200	622,375,000	1,062,599,200	188,439,200
7	+20%	+25%	451,512,000	622,375,000	1,073,887,000	199,727,000
8	+25%	+25%	470,325,000	622,375,000	1,092,700,000	218,540,000

5 今後の審議予定

回	内容
第1回	下水道事業の概要と経営状況
第2回	下水道使用料の状況 下水道使用料改定の目標額と改定シミュレーション（概要）
第3回	下水道使用料改定の目標額と改定シミュレーション（詳細）
第4回	使用料体系（案） 改定による算定結果 改定方針のまとめ
第5回	答申書（案）の確認